

2024年の幕が開きました。日立美術会は創立52年を迎え、秋には記念すべき、第70回「日立美術会展」を開催します。また、毎月第2火曜日には「美術サロン」そして、第4月曜日には「人物画研究会」を開催します。

1月9日(火)今年第1回目の「美術サロン」を小山台会館にて開催しました。以下、報告します。昨年12月の「美術サロン」が忘年会と併設されたので30名の会員が参加してくれましたが、その反動でしょうか、1月「美術サロン」は僅か5名の皆さんしか集まりませんでした。

しかし、参加した5名全員が作品を持参するなど、少人数でしたが、綺麗ごとではなく、本当に感じたことを全員が率直に発言して、熱の入ったサロンになりました。

サロンの終了後はJR目黒駅ビル「アトレ」内にあるイタリアン・レストラン「To The Herbs」でお洒落な新年会を楽しみました。

以下に作品と新年会の模様を掲載します。ご覧ください。



1月度参加の5名（小山台会館1階のブロンズの前で）

[1] 池川正人さん



「想いのサンフランシスコ」F20（水墨）

(1) 作品

以前、サロンで皆さんから頂いたアドバイスを反映して手を入れた作品「想いのSFC」を再度、制作しました。

(2) 制作意図

現役の頃、社費留学でUCB(The University of California Barkley)で勉強した時の思い出を絵にした。金門橋を渡り遠くに見えるサンフランシスコの街が主題です。

(3) 意見

- ①金門橋、カラオケを歌う池川さん、サンフランシスコの街、ヨットや観光船、橋の上を旋回する鳥、多くの素材をうまく一枚にまとめた。
- ②作者が一番描きたいサンフランシスコの街が小さすぎる。蜃気楼のごとく空一杯に想いのサンフランシスコの街を薄く描いたらどうか。
- ③Eye Tracing的にみると、歌う池川さんからスタート、金門橋を渡り、対岸を街に向かって移動、最終点はサンフランシスコの街。Z型トレースになっている。最終点の街をもっと魅力的に。
- ④手前のブッシュのラインを右下がりにはすべき。
- ⑤歌う池川さんの目線が「街」を向いている気がしない。体の向きをもっと街に向けてほしい。
- ⑥漢詩は池川さんの作。「昔、金門橋に遊んだ。青い海を赤い橋が渡っている。久しぶりに往時の仲間会った。懐かしい歌を歌いまた、再会を約束した。」というほどの意味だ。



[2] 島川修子さん



「レストラン・カステッロ」F20（油彩）

(1) 作品

第69回「日立美術会展」（2023年10月）に出品した作品と同じモチーフに新たな要素を加えて描き直した作品。

(2) 制作意図

このレストランでは本来のレストラン以外に、音楽会、講演会、勉強会、演劇、等色々なイベントが企画される。私もピアノを演奏したイベントがここで開かれて、会場の印象が心に沁みた。好きな場所になった。



(3) 意見

- ①大好きな素敵なレストランを皆に伝えたい、という気持ちが作品から十分伝わってくる。
- ②音楽会の会場という意味で「ピアノ、チェロ、ビオラ」が描かれているが、左下のピアノと右上の衝立の黒（Ivory Black）の部分に穴が開いたようで不自然だ。ピアノはピアノらしくもっと丁寧に描いた方が良い。また、Ivory Black は使わない方が良い。補色を混ぜて作った黒を使うと、もっと奥行きのあるピアノになる。
- ③室内がモチーフの中心ならば、テーブルと椅子、テーブルカバーとナプキン、青いグラス、などをもっと描きこんでください。一方、窓の外の景色は余り主張が強くないほうが良い。今の作品は外の景色が強すぎる。また、複数のテーブルの面が凸凹しておかしい。
- ④窓の間の壁面は天井の白系に揃えて、建物の安定感を出したい。丸鏡は真っ白ではまずい。

[3] 坂本 隆さん

(1) 作品

日立マーク（亀の子マーク）の有る手押しポンプのてっぺんで一休みする「メスのカワセミ」を描いた。カンバス上に水彩で描いている。まだ、完成ではなく途中の作品を皆さんに見て頂き、アドバイスをもらって完成に向けて頑張りたい。

(2) 制作意図

制作の得意技の一つに鳥の描写がある。

北海道の十勝連峰の大鷲や大鷲の頭部の克明な描写作品を以前にサロンで披露した。今回は植田さんの作品「ひと休み」に刺激を受けて「カワセミ」に挑戦した。

(3) 意見

- ① 布キャンバスに水彩で描くという意図が分からない。布に水を吸収されて、水彩本来の美しい色が出ないのではないか。この問いに対して、坂本氏は「何事も未知へのチャレンジである、どのような効果や弊害があるか知見をつくためである」との答え。
- ② カワセミが良く描けているが、取っ手を掴む「足」が見えたほうが良いのではないか？ これに対して、坂本氏は「これはメスのカワセミである。メスのカワセミは休む時に足を見せないのである」との答え。
- ③ モチーフの土台となる円形の井戸のコンクリートの上面がまだ描けていない。井戸のポンプを支えるために、しっかりとしたコンクリート製の井出であることがわからないと、見ていて不安になる。是非、土台を強くしてほしい。
- ④ 井戸の古びた「手押しポンプ」はとても良く描けている。赤さびが浮いた古いポンプの姿が良く表現されている。しかし、主題は「カワセミ」のほうである。主題の「カワセミ」はまだ描き切れていない。この作品は未完成なので、次回までに描きこんで来たいとのこと。楽しみである。



「井戸ポンプで一休みのカワセミの女性」F8（水彩）



[4] 福室 正さん

(1) 作品

雪の日光と秋の東北を旅した時の2枚である。

(2) 制作意図

1枚目は雪の「湯ノ湖」である。誰もいない湯ノ湖の重苦しい鉛のような水面、3艘いるボートの1艘は半分沈没してる、北国の雪の寒さを描いた。もう一枚は東北旅行の車窓からの1枚。美しい東北の秋を描いた。

(3) 意見

★「雪の湯ノ湖」

①中間に鉛のような水面を

置いて遠景に雪の林、近景から中景に木製の栈橋と3艘のボートと積もった雪の塊、全体の構図のバランスが絶妙である。

②黒く濃く深く描いた水面の重たさが寒さと雪の白さを際立たせて成功した。

③雪をかぶる2艘のボートは良いが、半分沈没したボートは誤解されることがある。船首だけが見えていて、デッサンが狂っているように見る人もいるだろう。沈没しているならそれらしく、古いボロボロのボートのよう描いてほしい。

★「秋の東北路」

①秋の稲の収穫時の田園風景である。収穫時ならもっともっと黄金の稲田を強調してほしい。具体的には左の稲田をもっと豊かな黄金色に、もう一つは遠くの赤い屋根の手前に広がる黄金の稲田を稲田とわかるほどに太い幅のある横線で表現してほしい。

②画面右側の緑色の木の塊をもっと濃くして画面いインパクトを与えてほしい。

③轍の跡を残して走る軽トラは良いが、近景にSLの一部を入れたら面白いのではないかな。

④遠景の山を際立たせている流れる霧は面白い。



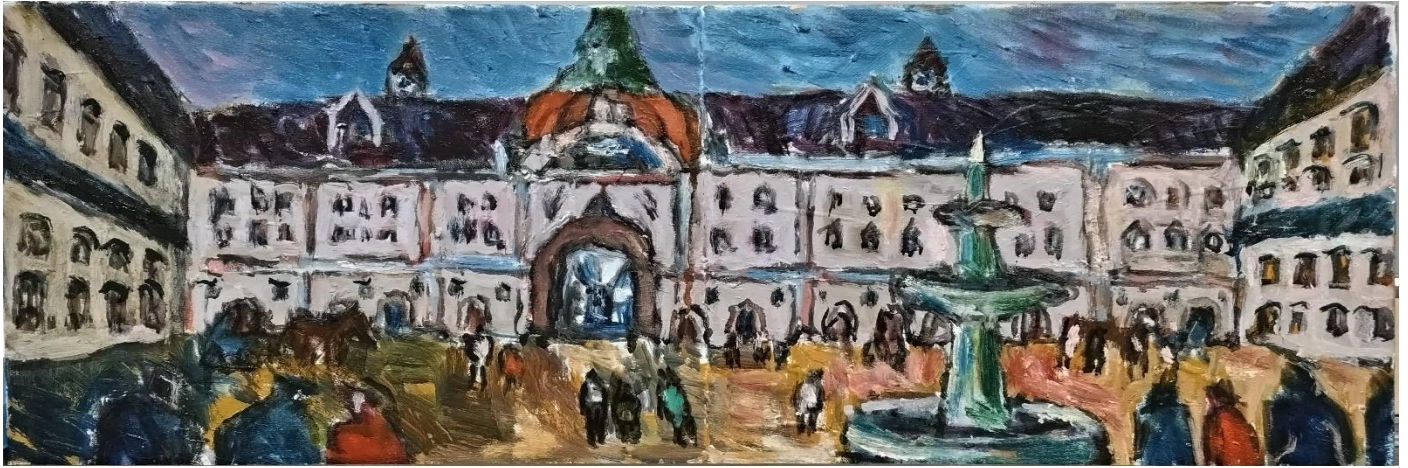
「雪の湯ノ湖」 P10 (水彩)



「秋の東北路」 P10 (水彩)



[5] 喜田祐三さん



「メルク修道院」F4X2 (油彩)

(1) 作品

F4 号を横長につなげた手製のキャンバスに横長の寺院を描いたユニークな作品、もう一枚は「花」(F4)である。



「花」F4 (油彩)

(2) 制作意図

★「メルク修道院」

横長の修道院を描くには F 号や P 号ではふさわしくない。横長のキャンバスを作って描いた。

2019 年 7 月に中欧を旅した折、このメルク修道院に立ち寄った。油彩画で描こうと思っていたが、旅行から 4 年以上経った

今になってしまった。メルク修道院は 1089 年に建てられた修道院である。オーストリアとドイツとの国境にあるヴァッハウ渓谷に近い。2000 年に世界遺産に登録された。

制作意図は横長の面白みのないこのモチーフを如何に魅力的に表現できるかの挑戦の積もりで描いた。

★「花」

珍しい赤色のユリである。最近水彩画で花を描いている。沢山描いていると、花には生命があり、個性があることがわかって来た。近所の花屋で枯れる直前の百合の花を安価に買った。

青い陶器の壺に投げ入れて一気に描いた。枯れる直前の花を生き生きと描く。生命を吹き込むように色と形とマチエールを意識して描いた。生き返ったか。

(3) 意見

- ①修道院の正面玄関から入ったところの白は光ですか？ むしろ暗い方が良いのではないかな？
- ②前庭にある噴水の位置はどのようにして決めたか？ 中心からずらせていて正解だと思う。
- ③花の作品で背景の色はどういう考えで決めたか？ 同系色より違った色がいいのではないかな？

作品集は以上です。

新年会「目黒・To The Herbs」スナップ集



ピザ (3種)・パスタ (3種)・赤ワイン (Full Body 1本)



島川・坂本・池川



池川・福室



池川・福室



喜田・島川

以上